

せんだい寸景

NO10 2005年2月

発行：じっかい電脳事務局

美女と乞食 回想・大運動会

☆その1 杉葉の歓迎アーチ☆

運動会は6月6日の学校創立を記念して開かれる。執行委員会行動部(のちに運動委員会と改称)の主催である。4月に各組から1名の委員が選出されるとただちに準備だ。この時期定期戦や校内大会(バレーや柔道など)が重なり、行動部はじつに忙しい。

校門に歓迎アーチを作るのが前日さいごの準備作業

で、丸太を組み、ムシロを張り、大運動会の書き文字の周辺に杉の葉を差し込んで仕上げる。杉葉の採取は集まった情報から、大年寺南麓、鹿野の龍沢寺と決めリヤカー引いて出かけた。なるほど立派な杉並木があった。寺には無断で取り掛かった。



1時間も経ったか、気がつくから見ると並木の形が変わっている。「ちよいとまづいかな」と終了にした。ところが、いざアーチに張りつけてみたら足りない。往復6Km余りをまた寺に出かける元気はもうなかった。

アーチはあちこちムシロのままというみっともない姿で運動会を迎えた。

☆その2 悩みの賞品選定☆

いつも定番のノート、鉛筆じゃ面白くないな、誰かがいった。それなら変えようや。一高売店の文具券と食券、それにささ屋の食券に変えた。

庄子屋さん、本間おばちゃん、ささ屋のおばんつぁんの喜びようだったらなかった。

☆その3 教員参加☆

先生がたの出場種目にはいつも知恵を絞った。やるほうも見る生徒も「楽しい」ものでないはいけない。「米騒動」は土がいっぱい詰まった俵を引きずってゴ



留・本名 沼田・助川
宇野校長よほど可笑しかった
かこの笑顔
運動委員会の面々 左の白シ
ヤツ姿が遠藤浩 右無帽で横顔
を見せるのが三原征郎委員長



ールに向かうもの、「ドッチボール」はラグビーボールを蹴って走る、ボールがドッチにゆくか分からないのがミソだった。

☆その4 不滅の4連覇☆

松岡という名をご存知か。この3兄弟を知らなければ「モグリ」といわれた。3人各々4年の在学、合わせて12年間と聞くと「ははあ」と畏敬の念にかられたものだ。アラクマさんの愛称で親まれた長兄が昭夫さん(1回生)名物応援団長だった。次は茂さん(5回生、弘前を訪ねれば弘前大遊学中の氏に腰抜かすまでドブロクを奢られた話をよく聞いた)さて末弟弘さんが今回の主人公である。9回生で応援団にいたからご存知のはずだ。彼は運動会100m競走で4連覇を遂げた。それも事前に大いに振れまくってかつ達成して見せた。これを前人未

到の偉業、不滅の大記録と言わずになんとする。大仰な、なぞというまいぞ、やれるものならやってみなされ。4年だよ。

その5 ミス一高☆

仮装行列はじつに参加者が多かった。それはいいのだが、大半が乞食役で遠藤浩(行動部・ヨット部)なんか真迫すぎ見てるほうで気が滅入るのであった。人気を呼んだのが「ミス一高」である。そろそろとえりすぐった美女が登場、仮装行列の時間になると「勝手知ったる」近所のおばちゃんたちが見物にきて拍手なんかしてくれるのだった。

☆その6 雨が降ってもいい天気☆

わが運動会が晴れたためしはない。降らないまでも必ずどこかで時雨れるのだった。時期が入梅のころとあれば当然のことで校長挨拶も「本日はまことに良き運動会日和で」とやる慣

わしでそこで生徒から拍手が沸くことになっていた。一度学校側から開催日変更の打診があったが「主催者側」はこれを一蹴した。

昭和三十三年の運動会二年五組一同による
仮装行列は小川筆企画「グレース・ケリーの結婚」
前列中央の乞食こそセミネのエンドーこと遠藤
浩 物乞いに訪れた朝日屋であのけちのおばち
やんが施しをくれたというので名声を博した

